

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程後期課程  
〈正規学生(一般)〉  
〈特別学生(社会人)〉  
〈特別学生(外国人留学生)〉

心理学領域

試験科目  
専門外国語科目

受験番号 番

解答記入不可  
↑

問I. あなたの修士論文研究 (あるいはそれに相当する研究) の概要を英語 200 words 程度で述べなさい。

問II. 次の8つの論文の要約 (Abstract) から4つ選び、それぞれの論文タイトルを日本語に訳した上で、内容を解答用紙4行程度に日本語でまとめなさい。(論文は次頁以降にもあります)

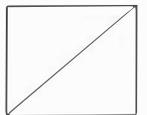
論文のタイトルおよび要約(Abstract)については公表しない。

1)

出典 : Landvreugd, A. et al. (2025). *Journal of Happiness Studies*, 261-22.

2)

出典 : Fung, L., & Laing, R. (2024). *Discover Psychology*, 4, 201.



3 枚中

1

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程後期課程 <正規学生(一般)> <特別学生(社会人)> <特別学生(外国人留学生)>	心理科学領域	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
---	--------	-----------------	-----------

解答記入不可  
↑

3)

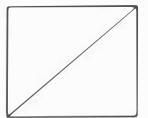
出典 : Ruedy, N. et al. (2013). *Journal of Personality and Social Psychology*, 105, 531–548.

4)

出典 : Ishiguro, C. (2024). *Japanese Psychological Research*, 66, 41–54.

5)

出典 : Kramer, R. S. S. et al. (2024). *Quarterly Journal of Experimental Psychology*, 77, 1978–1986.



3 枚中  
2

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程後期課程 <正規学生(一般)> <特別学生(社会人)> <特別学生(外国人留学生)>	心理科学領域	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
---	--------	-----------------	-----------

解答記入不可  
↑

6)

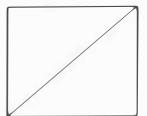
出典 :Owen,A. et al. (2024). *Journal of Health Psychology*, 29,275–288.

7)

出典 :Wiley,J. C. et al. (2024). *Journal of Applied Behavior Analysis*, 57, 926–935.

8)

出典 :Spengler,M. et al. (2018). *Journal of Personality and Social Psychology*, 114,620–636.



3 枚中  
3

文学研究科入学試験問題 (解答別紙・直接解答)

博士課程後期課程 <特別学生(社会人)> <特別学生(外国人留学生)>	心理学領域	試験科目 専門基礎科目	受験番号 番
---	-------	----------------	-----------

解答記入不可  
↑

I. 次の2つの問に答えなさい。

人とロボットの関係についてパーソナルスペースの観点で検討する実験を行った。正面から接近する対象を人間とする統制群と、ロボットとする実験群を設定し、接近する対象によって「これ以上近づいてほしくない距離」が変化するかを分析した。それぞれ1000名を実験参加者として被験者間実験計画で実験を行ったところ次のような結果を得た。統制群と実験群の平均値間には有意水準5%で有意な差がみられた ( $t=2.07, df=1998, p<.05$ )。

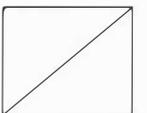
統制群：平均 65.6cm、標準偏差 14.29  
 実験群：平均 64.3cm、標準偏差 15.16

- ① この  $t$  検定の結果をどのように解釈すべきか、理由と共に述べよ。また追加の分析が必要であれば、それについても記せ。
- ② 本研究計画にはどのような問題があるか？それを解決するための実験計画を簡潔に示せ。

II. あなたの大学院での研究テーマを日本語で書き、それを英訳しなさい。

III. 心理学に関連する次の用語・人名から10語を選択し、簡潔かつ的確に説明しなさい。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| a. SD              | k. 不安の階層           |
| b. アナログ研究          | l. 葛藤              |
| c. キャノン・バード説       | m. 類型論             |
| d. 中枢神経(系)         | n. GSR             |
| e. 行動分析(学)         | o. S-R             |
| f. ファイ( $\phi$ )現象 | p. Lorenz, K. Z.   |
| g. 保持曲線            | q. Atkinson, R. C. |
| h. 拡散的思考           | r. Wernicke, C.    |
| i. デマ              | s. Kraepelin, E.   |
| j. 自己中心性           | t. Maslow, A. H.   |



1 枚中  
1